

RD&DDの各フェーズでの取り組みの役割

(梶川委員提出資料)

- Research: Research Frontの開拓(科学に対する社会的責務のもと、未知の可能性を探索し知のフロンティアを開拓するとともに、国際社会、将来世代への知的貢献を果たすこと。)
- Development: State of the Artの向上(社会的要請の水準に対する認識をもとに、現状の技術とのギャップやボトルネックを把握し、それらを解消するための必要な投資を着実に実施し、残余のリスクを低減させること。)
- Demonstration: Deploymentリスクの事前の低減(実証実験を通じ、deploymentにおける不確実性の低減を図るとともに、operationの能力を向上させること。)
- Deployment: State of Practiceの向上(科学的な規律や知見に基づき、各サイト等においてそれぞれのステークホルダーが安全性の持続的な向上に取り組むこと。またそのための枠組みを着実に構築すること。)

